

# たのしい たのしい 船穂校♪

倉敷市立船穂小学校 横山文朗

## 「ありがとうございました。」

各学級にインフルエンザやかぜで欠席する子どもがあって、4日（土）の学芸会が開催できるかどうか心配していました。保護者の皆様が子どもたちの健康に気をはらってくださったおかげで、無事に開催できてほっとしています。かぜの予防のため、練習に制限がある中でよく練習できていたと思いますし、担任の先生の個性も生かされよく工夫できていたと思います。何より子どもたちが学芸会を成功させようと真剣に演技し、合奏し歌っていたことをうれしく思いました。

学校行事には、『学校生活を豊かで実りあるものにするという共通の目標に向かって、協力し信頼し励まし合い、喜びや苦勞を分かち合うような人間関係を築こうとする態度を育てる。』『学校への愛着、学校の一員としての自覚や仲間意識などの集団への所属感や連帯感をもたせる。』などの指導意図があります。学芸会の準備や練習、当日の発表の中で、子どもたちの多くがこのことを意識してくれたのではないかと思います。

大勢の、ご来賓、保護者の皆様、地域の方々にお越しいただき有り難く思っています。運動会や学芸会などの行事がある度にずっと思っていることがあります。それは、行事が終わって帰られる際に、「ありがとうございました。」と多くの方が口にされることです。教員が来校してくださった方々にこの言葉を口にし、お礼を言うのはごくあたりまえだと思います。しかし、来校された方がこの言葉を言われるということは、『子どもたちのがんばりを見せてもらって、ありがとうございます。』とか、『先生方子どもたちにより指導をしてくださって、ありがとうございます。』といった思いが込められているように思います。とても心地よくうれしい気持ちになって、「ありがとうございます。」と返しています。

こうした上質な気風を受け継ぐ子どもたちを育てていくことが、船穂小学校の職員の使命ではないかと思っています。学芸会が予定通りに実施できたことはもちろんですが、このような空気の中に身を置けることをうれしく思いました。

ありがとうございました。

